



るもい

'82
11月

第296号



働く人

「カリツ」と肌に

感じる黄金のダイヤ

田中 紗智子さん

全国で一番の生産量を誇るカズノコは、今がピーク。

工場で百人ほどの女工さん達が、白衣姿で黄いカズノコを手早く選別し、箱詰めしている様子は、さすが水産加工の街という感じ。

田中紗智子さんは、今年で七年目という大ベテラン、毎朝七時半までには仕事にかかるといふ。

「いつもお客様の身になって仕事をしています。それに高価な商品でしょう。

みすみすしくてきれいだから他のものが入っていたら大変です。留萌の名前にキズがつきますからね。

なんといっても衛生面で神経を使います。もう少し安く皆さんに沢山食べてもらいたいです。」

品質では一等から四等まで大きさでは特大から大、中、小と、選別にはひとときの気の休まる時がないという。

(井原水産勤務)